



さいとうかずのぶ
齋藤一信議員



新・市営住宅を高齢者・若者が住みよい場所にするために！

議員 新しい市営住宅をケア住宅、

例えば個人院を営みたい人が、その市営住宅の角に、市が病院の運営ができるような施設を建ててあげるとか、角っこには消防署とまではいかないが、何らかのそういった施設も呼び込むというような形で、実際に新しい市営住宅ができるならば、そういった高齢者の方、若い世帯が本当にお互いお世話がし合えるような住宅を実現してほしい。

建設部長 富岡の市営住宅を再編成するときには、住生活の安定の確保の向上は必要になってくると考えている。

その中には、世代を超えて住み続けられる住生活の実現、住み慣れた場所で健康で快適に暮らせる住宅といったものをいろいろ検討

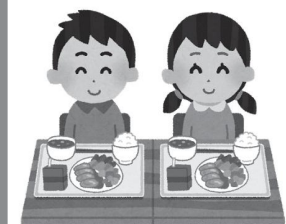
するべきだと思っている。

再編成する中では当然、民間、PFIも含めて、民間活力を利用させていただき、高齢者の方が住みやすいフロア的なものを作るとか、さらに2階、3階では若い世代が入っていただけのような間取りであるとか、福祉施設も含めていろんなものを、民間のノウハウを利用しながら検討し、関係する部局とも連携をして、（新市営住宅が）よりよいコミュニティの場になるような、また住みやすい場所になるような、そのような団地をつくっていききたいと考えている。

その他、市営住宅に関する「浴槽の設置」「退去者への建築物などの撤去義務、現状復帰義務」についてなど質問しました。



まなべ ようこ
真鍋陽子議員



オーガニック給食、給食の無償化について問う

議員 今年度のオーガニック給食の予定をたずねる。

可能だと考えており、前向きに検討していきたい。

教育部長 12月15日に有機栽培のニンジンとホウレン草を使う。

議員 専門の担当職員を配置することはできるか。

議員 みどりの食料システム法も施行され、国からは来年度に向けて様々な支援メニューが出ています。周知はできているのかをたずねる。

産業部長 優先順位を考えながら配置できるよう検討していきたい。

産業部長 月に一度、笠岡湾干拓地で開いている会合など、機会を捉えながら周知に努めていく。

議員 地方創生臨時交付金の活用をして、市内事業者の支援という意味でも検討していただきたい。

議員 市内の耕作放棄地と有機農業をやりたい方のマッチングができるかをたずねる。

産業部長 耕作放棄地については色々な相談がある。マッチングは

その他「相談支援ファイルのリニューアル」「不登校対策」「ヤングケアラー」「医療的ケア児支援法」についてなど質問しました。